

福岡県スクールソーシャルワーカー協会 第7回大会



大会テーマ

10 + 1

— 新たなスタート —

<ご挨拶>

スクールソーシャルワーカー活用事業が開始され10年が経過しました。今年度からのスクールソーシャルワーカー活動は、改めて専門職としての真価が問われるステージへ移行していきます。そこで、今大会は学校ソーシャルワーク実践に焦点を当て、福岡県内の幅広い地域から実践者に集結いただき実践報告を行うことになりました。教育課題である「虐待」「不登校」「精神疾患」「貧困」「いじめ」「発達障害」の6つをテーマとし、部会形式で協議を進めます。子どもの置かれている状況や学校教育課題を再認識するとともに、学校ソーシャルワーク実践の本質や専門家としての役割を振り返る機会にできればと考えております。ぜひ、多くの方々にご参加いただきますようお願いいたします。

福岡県スクールソーシャルワーカー協会
会 長 門田 光司 (久留米大学)

日 時：2018年8月25日

会 場：九州工業大学

主催 福岡県スクールソーシャルワーカー協会
後援 福岡県教育委員会 福岡市教育委員会
北九州市教育委員会 九州工業大学
日本学校ソーシャルワーク学会

I 大会プログラム

※SSW：スクールソーシャルワーカー

時 間	内 容
12:30	受付
13:30	第1部開始 ※部会3つ【虐待】【不登校】【精神疾患】(うち1つを選択しての参加)
	<p>【虐 待】 会場 C-1C 講義室 定員：50名 発題者：丹後ちはる（福岡市教育委員会他）、廣瀬 亜美（北九州市教育委員会他） コーディネーター：田中 惟子（北九州市教育委員会他） コメンテーター：池田 敏（福岡市教育委員会／協会運営委員）</p> <p><内容・ねらい> 昨年4月に完全施行された児童福祉法では、要支援児童に対する市町村の役割が重視されています。しかし、その取り組みは端緒についたばかりで、学校を含む市町村に何ができるかは十分に共有されていないのではないのでしょうか。また、そうした中で、SSWに何ができるのかについても明確に共有されていません。そこで、本プログラムでは、SSWから実践を報告いただき、要支援児童へ対しSSWにできることを考えていきます。</p>
	<p>【不 登 校】 会場 C-1D 講義室 定員：50名 発題者：荻本 祥子（久留米市教育委員会）、嶽 薫（大野城市教育委員会） コーディネーター：前屋敷なな子（福岡市教育委員会） コメンテーター：横山 明希（福岡市教育委員会／協会運営委員）</p> <p><内容・ねらい> 不登校の子どもへの支援は、SSWとして数多く取り組んでいるものと思います。しかし、その状況は様々でそれぞれに応じた支援を行います。本報告会では2名のSSWが直接的に子どもと関わりながら不登校支援を行った実践について報告して頂きます。さらに、報告者から発題頂き、グループに分かれて意見交流を行います。不登校の子どもへの支援を一緒に考える時間にしていきます。</p>
	<p>【精神疾患】 会場 C-2C 講義室 定員：50名 発題者：今釜 実優（福岡市教育委員会他）、平川 明美（中間市教育委員会他） コーディネーター：後藤 哲也（福岡市教育委員会他） コメンテーター：高口 恵美（西南女学院大学／協会運営委員）</p> <p><内容・ねらい> 昨今、メンタルヘルス課題は統合失調症やうつ病のみならず依存症やDV、虐待、いじめ、ひきこもり、自殺など多様複雑化しています。このような課題は、子ども達の心の成長、生活環境、貧困など様々な面で影響を及ぼします。本部会では2名のSSWからメンタルヘルス課題を抱えた家庭への支援について事例発表していただき、SSWはどのようにしてメンタルヘルス課題をキャッチするのか、またどこにコンタクトをとり繋いでいくことが出来るのかを社会資源の理解を深めながら考察していきます。</p>
15:00	第1部終了

時 間	内 容
15:15	第2部開始 ※部会3つ【貧困】【いじめ】【発達障害】(うち1つを選択しての参加)
	<p>【貧 困】 会場 C-1C 講義室 定員：50名 発題者：渡邊 聡子（福智町教育委員会他）、永瀬 由季（福岡市教育委員会他） コーディネーター：徳永 知代（福岡市教育委員会他） コメンテーター：奥村 賢一（福岡県立大学／協会副会長）</p> <p><内容・ねらい> 内閣府（2014）「子供の貧困対策に対する大綱」や文部科学省（2018）「学校をプラットフォームとした総合的な子供の貧困対策の推進」などで示されているように、子どもの貧困問題におけるSSWへの期待は高いものがあります。本分科会では、子どもの貧困に対する取り組みを地域レベルで実践する2つの先進事例の紹介を通して、SSWが果たすべき専門的役割について検討していきます。</p> <hr/> <p>【い じ め】 会場 C-1D 講義室 定員：50名 発題者：古賀 幸広（香春町教育委員会）、山内未紗希（須恵町教育委員会） コーディネーター：濱 とおこ（朝倉市教育委員会他） コメンテーター：土井 幸治（志免町教育委員会／協会運営委員）</p> <p><内容・ねらい> いじめ防止対策推進法の施行により、いじめにおける国及び地方公共団体等の責務が示され、いじめ防止基本方針の設定やいじめの被害児やその家族を守るために学校だけではなく関係機関との連携が求められています。本部会では、現任のSSWによる問題提起に始まり、いじめに対してSSWとして何が出来るか、悩みも共有しながらワークショップ形式で皆さんと考えていきます。</p> <hr/> <p>【発達障害】 会場 C-2C 講義室 定員：50名 発題者：田中万里恵（対馬市教育委員会）、井上 由紀（大牟田市教育委員会） コーディネーター：角田かおり（北九州市教育委員会他） コメンテーター：門田 光司（久留米大学／協会会長）</p> <p><内容・ねらい> 障害者差別解消法の施行により、発達障害の子どもたちの教育保障に向けた合理的配慮が求められており、ますます学校と家庭の協働にむけてSSWの役割が重要となります。本部会では、2名のSSWから発達障害の子どもたちへの支援課題や支援方法の在り方を発題していただき、参加者とSSWとの意見交換を通して、発達障害の子どもたちへの学校ソーシャルワーク実践について共通認識を図っていききたいと思います。</p>
16:45	第2部終了
18:00	情報交換会 ※北九州市内某所

II 大会参加費

	第1部	第2部	情報交換会
正会員	1,000円	1,000円	4,500円
準会員			
賛助会員			
学生会員			
非会員	1,500円	1,500円	

※大会参加費（第1部、第2部、情報交換会）は、当日の受付にて現金での支払いをお願いします。

III 大会参加申込方法

大会参加申込方法は、1) E-mail でお願ひ致します。E-mail での対応が難しい場合は、2) FAX でお申込みください。申込締切は、**8月22日(水)**です。

1) E-mail の場合

件名：第7回大会参加申込

本文：①氏名②会員種別（正会員・準会員・賛助会員・学生会員・非会員）③所属④連絡先

⑤第1部参加希望の部会（虐待・不登校・精神疾患）※1つを選択

⑥第2部参加希望の部会（貧困・いじめ・発達障害）※1つを選択

⑦情報交換会参加の有無

をご記入のうえ、協会事務局（info@fassw-2012.jp）まで送信してください。

2) FAX の場合

大会チラシ（裏面）に必要事項をご記入のうえ、協会事務局（093-884-3727）へ送信してください。

IV その他

- ・大会当日は、お弁当などの事前注文は受付けておりません。大学内の生協等もお休みとなります。
- ・会場では託児所を設けておりませんのでご了承ください。
- ・大学内の駐車場はご利用できません。大学周辺の駐車場は混雑することが予測されるため、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

V 大会会場



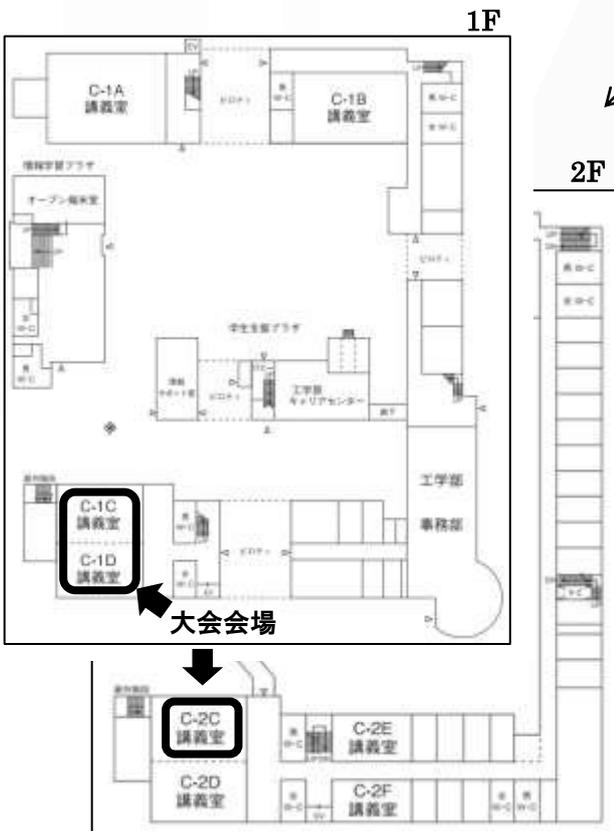
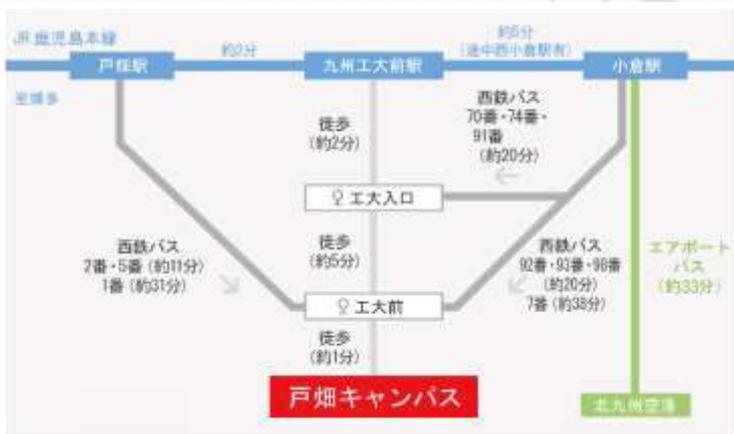
<九州工業大学>

〒804-8550

北九州市戸畑区仙水町1番1号

(大会会場)

- ・総合教育棟 講義室
C-1C、C-1D、C-2C





【問い合わせ先】

福岡県スクールソーシャルワーカー協会 事務局

〒804-8550 北九州市戸畑区仙水町 1-1 九州工業大学 学生総合支援室（担当：下田）

TEL : 093-884-3727

FAX : 093-884-3727

E-mail : info@fassw-2012.jp